



白岡市ウォーキングMAP



～ 下野田一里塚周辺コース ～ E コース 6.7km



線路	神社	緑地・公園
新幹線	寺院	池沼
高速道路	交番・駐在所	河川
国道	郵便局	施設
県道	幼稚園	トイレ
遊歩道	保育所	コンビニ
その他道路	金融機関	



この地図は
国土地理院地図 電子国土 WEB
を加工して作成しました

発行日：2024 年 2 月

緑と水の里・白岡

白岡市観光協会

白岡市千駄野432 白岡市役所 商工観光課内 電話/FAX 0480-92-8151
URL www.shiraoka-kanko.info



かみのだわしみやじんじゃ
上野田鷲宮神社

『風土記稿』等の資料によると、祭神は天穂日命（あまのほのひのみこと）、別雷命（わけいかづちのみこと）、倉稻魂命（うがのみたまのみこと）で、創建、由来ともに不詳。『風土記稿』には「高祖明神社」と記されており、旧鷲宮町（現久喜市）の鷲宮神社より分社されたとみられます。現在の本殿は昭和 53 年焼失したものを、翌年に再建されたものです。



しょうでんじ
正伝寺

上野田にある曹洞宗の寺院。大徳寺の末寺。開基は岩槻城主太田十郎氏房と伝わっています。本尊は釈迦如来。本堂と太子堂が併設され、墓地内に開山様が祀られています。「開山様」として崇められているのは、中興開山大長益善のことで、益善は亡くなるとき「婦人の病は私を信仰すれば必ず治る」と言い残したと言われ、かつては小絵馬を奉納する大勢の参拝客で賑わいました。



下野田の一里塚

江戸幕府は、慶長 9 年（1604）主要街道に一里塚を築きました。江戸日本橋を起点に 1 里（約 4 キロメートル）毎に街道の両側に塚を築き頂上に榎や松の木などを植えました。下野田の一里塚は日光御成道に造られたもので、日本橋から 11 番目の塚です。なお、両側に塚の残る一里塚としては県内唯一で、県の文化財（史跡）に指定されています。



しものだわしみやじんじゃ
下野田鷲宮神社

下野田のほぼ中央にある鎮守で、祭神は天穂日命（あまのほのひのみこと）。社殿は本殿と拝殿。境内には種々の記念碑、稲荷神社があります。中でも富士講中によって造立した「女孝心」の石塔はめずらしいものです。



つめたがやすわじんじゃ
爪田ケ谷諏訪神社

爪田ケ谷の鎮守で祭神は建御名方命（たけみなかたのみこと）。『風土記稿』に「村の鎮守、観音寺の持」とあります。観音寺は観音堂のことです。社殿は本殿、拝殿。境内の大スギは市の文化財に指定されています。



つめたがやかんのんどう
爪田ケ谷観音堂

敷地内に教育者 富沢玄智 の筆塚があります。筆塚は、もともと書家が廃筆の供養のために築いたもので、書家が寺子屋の師匠になるに及んで教え子達の筆もあわせて埋め、筆の供養をするとともに、師匠を顕彰する意味を持つようになりました。



ひこべえの森

平成 1 9 年からは、市のふるさとの森として指定され、平成 2 2 年度の埼玉県の「まちのエコ・オアシス保全推進事業」により、森の一部を土地所有者のご協力により公有地化し次世代に継承していくことになりました。彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森は、わずかに残された雑木林のひとつで、コナラ、クヌギ、イヌシデ、エゴノキなどの落葉広葉樹とシカラシ、ヒサカキ、シロダモなどの常緑樹が見られます。森では、市・ボランティア団体などが自然観察会や環境学習会などを行っています。



大徳寺

上野田にある曹洞宗の寺院。創建は不詳ですが『大徳寺縁起』によると永正 9 年（1512）に再建して改宗したとあります。本尊は釈迦如来。境内には大日堂（本尊の大日如来座像は市指定文化財）、観音堂があります。